

これからも

# 町民が主役のまちづくりを目指して...

## 新時代への期待

鶴田町長 井上 章三



町民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、健やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、鶴田町最後の年ということで、名残を惜しみながらさまざまな記念行事を開催すると共に、残された行政課題の実現に向けて精一杯取り組んできました。念願であった広域農道整備事業大平地区の大工事も開通間近となり、ま

た水量拡張事業の完成により、町水道の整備状況は近隣でもトップレベルとなりました。お蔭様で、本町の行政上の懸案はほぼ順調に進展しており、「奥薩摩のホタル舟」が国内外に紹介されるようになったのははじめ、農業面での2つの農林水産大臣賞受賞、教育面、文化面などに、多くの明るい話題を提供しながら、「人がイキイキ、町がキラキラのまちづくり鶴田町」を発信できたと思っております。

組んできた努力が生かされる町であって欲しいと願っています。さらに、スケール・メリットを生かした「奥薩摩・水と緑の郷づくり構想」の推進や、特色のある農産物生産、地域資源活用等々、魅力的で活力のある新町が建設されることを期待しています。

いよいよ3月22日から、面積で約4倍、人口で5倍強の約2万7000人規模の新町「さつま町」が誕生いたします。合併後は、三

町の融和を基本に、バランスのある地域振興が図られ、各町の取り

## 新しい町づくりは新時代の一步

鶴田町議会議長 東 哲雄



々に改めて敬意を表するとともに、感謝を致しております。

一方、温室ガスによる地球温暖化等の異常気象とみられる事象などから、台風が相次いで襲来し農作物等への被害など町民にとって苦勞の多い年でもありました。また、自然災害とはいえ、新潟中越地震の被害は想像を絶するものとなり、多くの人命が失われたことは悲しい出来事となりました。平成9年私達も県北西部地震を経験しているだけに、一日も早い復興と安らかな一年であってほしいと願うばかりです。

国政においては第2次小泉改造内閣が誕生し、構造改革の目玉として税財源配分の見直しなどを柱とする地方分権の推進、すなわち「三位一体の改革」の全体像が示されたことにより、分権型社会の新年となります。そのほか自衛隊の派遣延長や、北朝鮮問題など国の内外に山積する問題についてもその対応に注目するところです。

さて市町村合併は、町民の皆様への合併内容の説明を終え、配置分合等の合併関連議案が、町議会、県議会と議決され、県より合併認定書の交付、総務省の告示がなされ、合併に向けた一連の法手続きが昨年終了し、いよいよ今年3月22日新町「さつま町」の誕生となります。本町議会としても永い歴史の中で先人の方々が築いてこられた文化と伝統ある鶴田町を締めくくり、新しい町づくりの中で、生かされるとともに、より一層の町民の福祉の向上が図られるよう努力を傾注して参りました。合併により鶴田町の名称がなくなることは寂しい思いもありますが、時代の変革の中で合併を発展的に受け止め、新しい町づくりの新時代に町民、心をひとつにしてその一步を踏み出そうではありませんか。

最後に町民の皆さんのご健勝と更なるご活躍を祈念し挨拶いたします。

町民の皆さんあけましておめでとうございます。  
輝かしい新年が良い一年であってほしいとの思いと、新たな決意を抱きお迎えになられたことと心からお慶びを申し上げます。  
昨年は本町として最後の年で、特別な思いを抱き、各種行事に望んで参りました。そのような中で、台風による龍舟祭の中止は誠に残念でしたが、ほたる舟は全国に鶴田町を紹介する大きなイベントに成長し今後に期待しています。  
そのほか町民体育大会、町民祭など町民多数の参加いただきにより良き思い出となり、関係者の方